

株式会社 Lily MedTech と資本提携
～ 7P プロジェクトとして、痛くない乳がん診断装置の開発に参加～

エムスリー株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：谷村 格、URL：<https://corporate.m3.com/>、以下「エムスリー」）は、「7P プロジェクト」の一環として、株式会社 Lily MedTech（本社：東京都文京区、代表取締役：東 志保、URL：<http://www.lilymedtech.com/>、以下「Lily MedTech」）に対して資本参加したことをお知らせいたします。

1. 背景

エムスリーは、日本の医師の9割にあたる28万人が登録する医療従事者専門サイト「m3.com」を運営し、製薬会社向けマーケティング支援サービスや治験支援サービス等を提供しています。昨今はAIを用いた診断ツールの開発、ゲノム検査の提供、脳梗塞リハビリ施設のグループ会社化など医薬品マーケティングに留まらないサービスの拡充、またそれらを複合的に組み合わせ医療疾患課題自体の解決を目指す「7P プロジェクト」を推進しています。また、日本のみならず米国、英国、フランス、中国、韓国、インドなど海外にも積極的に進出しており、全世界の医師の半数にあたる550万人の医師会員・調査パネルを基盤とした様々な事業を行っています。

Lily MedTech は、リング型の超音波振動子を用いた乳房用画像診断装置の開発を手掛ける東大発ベンチャーです。元東京大学医学系研究科疾患生命工学センター教授であった東隆氏（2019年4月よりLily MedTech の取締役CTOに就任）の研究成果を基に2016年5月に設立され、NEDO（※1）、AMED（※2）、J-Startup（※3）等の公的機関の助成企業にも選出され、また、日本国内の関連学会等でも注目を集めています。

乳がんは世界的に女性が最も罹患しやすいがんで、日本人女性の11人に1人が乳がん罹患し、日本人女性の30～64歳の死亡原因のトップになります。一方、日本の乳がん検診受診率は欧米の半分程度と低く（4割程度）、早期発見できれば9割以上は完治が見込めるため、検診による早期発見が重要とされています。乳がん検査として、マンモグラフィ（乳房専用X線装置）が世界的に普及していますが、検査時の痛み、被ばくリスク、デンスブレスト（高濃度乳房）に対する検出精度低下等の課題があります。

Lily MedTech はこれらの課題を解決するため、リング型超音波振動子を用いた診断装置を開発中であり、2年以内に世界初の上市を目指しています。また将来的には撮影された画像をAIが判別する自動診断支援機能も搭載される予定です。

※1 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

※2 国立研究開発法人日本医療研究開発機構

※3 経済産業省が推進するスタートアップ企業の育成支援プログラム

■ Lily MedTech が目指す乳がん検査

乳房をベッドの穴に入れるだけで……

- ✓ 誰にも乳房を見られたり触れられずに検診を受けられる
- ✓ 超音波なので被ばくの心配がなく、乳腺密度が高い方への検診にも適している
- ✓ 圧迫をしないため、自然な形に近い乳房全体の 3D 画像が撮れる
- ✓ 診断を支援する技術により、検診の精度を高める

■ 開発装置イメージ（左）と、使用イメージ（右）



出所：Lily MedTech 作成

受診者がうつぶせになり乳房をベッドの穴に入れると、円環状の超音波振動子が上下に移動しながら乳房内を撮像します。

振動子が身体に触れることはないため、受診者が撮影中に痛みなどを感じることはありません。

また、乳房を下垂させた状態で撮影するため、再現性の高い撮影が期待されます。

Lily MedTechの優位性

	Lily MedTech		マンモグラフィ
痛み	乳房が圧迫されず痛みなし	↔	検査時の圧迫により、痛みを感じることが多い
被ばくリスク	超音波による検査のため被ばくリスクなし	↔	X線による被ばくリスクがある
精度	超音波による検査はデンスプレスト（高濃度乳房）に対して精度が下らない	↔	デンスプレスト（高濃度乳房）に対して精度が下がり、見落としのリスクがある

☞ 上記以外に、乳房全体の3D画像が得られることや、AIによる自動診断支援機能等の特徴もある。

Copyright © 2019 M3, Inc. All rights reserved.

※2019年9月9日現在、日本国内で本製品は未承認です。

2. シナジー効果

想定されるシナジー効果には以下のようなものがあります。

(1) 薬事戦略・臨床開発支援

エムスリーグループが持つ、先端医療分野での研究開発支援ノウハウを活かし、Lily MedTech の薬事戦略立案や臨床開発を支援することで、早期実用化を推進します。

(2) 上市後の事業拡大支援

エムスリーグループは、全世界で 550 万人以上の医師会員を有しており、そのプラットフォームを活かし、Lily MedTech の診断装置の上市後、医師向けマーケティング・調査等を支援する予定です。

3. 本案件の戦略的位置づけ

エムスリーでは医薬品マーケティングに留まらないサービスの拡充、またそれらを複合的に組み合わせ医療疾患課題自体の解決を目指す「7P プロジェクト」を推進しており、社会的な課題である乳がんについてもテーマの一つとして取り組んでいきます。今回資本提携した Lily MedTech の診断装置の活用に加え、グループの持つ各サービスを複合的に組み合わせ、受診率の向上、適切な治療方針の提示、予後のケア等、乳がんに関わる全ての課題の解決を推進していきます。

◆会社概要

【名称】株式会社 Lily MedTech

【設立】2016年5月

【所在地】東京都文京区本郷7-3-1

【URL】<http://www.lilymedtech.com/>

【代表取締役】東 志保

【事業内容】乳がん診断装置の開発

本件に関するお問い合わせ先

エムスリー株式会社

Tel : 03-6229-8900

e-mail : pr@m3.com

担当 : 広報担当